

【第43号】

かけはし

若松地域づくり協議会

児童の絵が地域の安全・安心を見守る

若松消防車庫の壁面を塗替え

鈴鹿市消防団若松分団の消防車庫正面シャッターと西側壁面の絵を塗替えました。

十数年前に描いたシャッター、壁面の絵が風雨で色あせてきたので、若松分団、若松小学校の関係者と相談しながら描き換えを決めました。

若松小学校の児童(3年生)が、社会見学で鈴鹿市中央消防署を訪問して、見たり聞いたりした消防車や消防署員の消火活動等を絵に表しました。

提出された絵の中から優秀作品2点(車庫の正面シャッターに消防車、西側壁面には消火活動に励む消防団員の絵)を選び、壁画の下絵に採用しました。

3月3日(金)、事前に看板製作業者さんが描いた拡大の下絵に、若松小学校の3年生の児童と若松分団の団員、当会の役員、総数50人強で、はけを使いながらペンキ色付け作業等を一日費やして行いました。

今回の取り組みを通じて、子どもたちや地域の住民の皆さまが、昼夜問わず住民の安全安心を守っていただいている消防団のことを知っていただく一助になればと願っています。

作業前に挨拶する原田会長と一新された若松分団の車庫



＝作業前に挨拶する原田吉次会長＝



＝塗替えられた消防車庫＝

児童の作品審査で思うこと 児童の絵が防火・防災意識の高揚につながる。

審査委員長 日本絵手紙協会公認講師 荒木 万里 さん



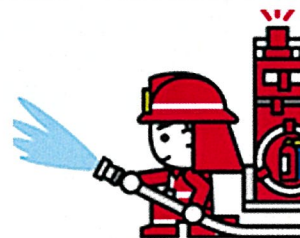
鈴鹿市消防団若松分団の消防車庫の扉・外壁の塗り替え作業に伴う絵の図案募集を、若松小学校3年生対象におこない36点の力作が描かれました。

1月24日に地域づくり協議会、若松消防分団の役員・若松小学校の校長先生と一緒に優秀作品2点を選ばせていただきました

消防車の絵は、車の細部まで描き込まれた力作が多く、昇降用ハシゴや赤色灯、放水ホース、運転席のミラーの形状などよく観察し力強い色彩で表現されていました。また、消防士の絵は、重いホースをしっかりと握り、放水する動きをいきいきと捉え、制服姿やヘルメットの特徴まで表現豊かに描かれていました。

これらは、3年生の児童たちが、消防署見学に出向き、そこでの見聞や感動が絵となり線となり色となり素晴らしい作品になったのだと感じました。

鮮やかで生き生きとした絵は、まちの人達の防火・防災意識の高揚や安心と安全な町づくりにつながってくれるものと願っています。



優秀作品と壁画完成までの経過



=優秀作品=



=審査会の模様=



=西側壁面の色付け作業=



=優秀作品=



=正面シャッターの色付け作業=



=5時間の作業終了。ご苦労=



=消防車を描いた正面シャッター=



=放水する消防士を描いた西壁面=